

From the President's Office

—学長室だより—



<No. 4>

2007. 7. 20

### 専門職大学院の設置を申請

本学の開学当時の懸案であった専門職大学院を「グローバル・コミュニケーション実践研究科」(定員30名、修士<専門職>)として去る6月30日、文部科学省に設置認可の申請をおこないました。専門職大学院としては、法科大学院や最近の教職大学院が知られていますが、本学のそれはわが国にまだ先例のないユニークな専門職大学院であり、多くの国際レベルの実務家教員を擁して、「英語教育実践(English Language Teaching Practices)」「日本語教育実践(Japanese Language Teaching Practices)」「発信力実践(Global Communication Practice)」という3つの領域から成り立っています。「発信力」の分野には国際報道やメディア論、ディベート技法、通訳技法などの科目も設けてあります。この専門職大学院はグローバル化に対応すべく、日本で最初の九月入学の大学院にする予定ですので、順調に設置が認可されれば、2008年9月のスタートになります。AIU生も是非多数挑戦してください。

### 教職課程の設置を申請

専門職大学院の設置認可申請に引き続き、この7月3日には、本学に教職課程を設けるための認可申請を文部科学省にたいしておこないました。関係の教職員、とくに事務局の関係職員には、双方の書類作りに夜も徹して努力していただき、感謝しております。

本学の学生諸君のなかには、その英語力を活かして将来、英語の教員になりたいという希望も多かっただけに、学長としても教職課程の設置を強く望んでいたのですが、設置が認可されれば、2008(平成20)年度から教職課程がスタートし、高校英語教員一種免許状取得への道が開かれます。本学の厳しい履修体制の中で教職免許状を四年間のうちに取得するためには、かなりの努力が必要かと思われませんが、専門職大学院に進学して教職科目を履修すれば、修士課程修了者に与えられる英語教員専修免許状の取得も可能になりますので、是非期待して頑張ってください。

### グローバルヴィレッジの竣工

キャンパスライフをより快適にするための懸案であった宿舎が完成し、この7月27日午後4時からオープニング・セレモニーがおこなわれます。1人部屋100室、2人部屋92室、障害者用4室、ゲストルーム/シングル4室、同/ダブル2室という構成ですが、県の配慮もあってすべて秋田杉を使った木造二階建ての瀟洒

な宿泊施設は、いかにもこのキャンパスにふさわしく、この場をお借りして、関係各位に御礼申し上げます。グローバルヴィレッジという命名には学生諸君にも協力していただきました。当面は留学から帰った学生が優先入居する予定で、すでに3月末に竣工した半数の宿舎は、春学期から利用されています。

引き続き、図書館・総合学習センター（仮称）の工事が始まっており（2008年4月竣工予定）、さらに学生会館、新講義棟（いずれも2008年9月竣工予定）の建設も始まりますので、キャンパス環境は近い将来、さらに大きく改善されるものと思います。

### 教育再生会議第二次報告

教育再生会議の第二次報告「社会総がかりで教育再生を～公教育再生に向けた更なる一步と『教育新時代』のための基盤の再構築～」が一月下旬の第一次報告発表以来、合計32回もの総会・分科会の討議を経て、去る6月1日に公表されました。今回の第二次報告は「地域、世界に貢献する大学大学院の再生——徹底した大学・大学院改革——」との柱のもとに、「大学教育の質の保証」「国際化・多様化を通じ、世界から優秀な学生が集まる大学に」「世界トップレベルの教育水準を目指す大学院教育の改革」「国公立大学の連携により、地方の大学教育を充実」「時代や社会の要請に応える国立大学の更なる改革」という五つの提言を含んでいます。具体的には、総合的、国際的な教養教育の重視、セメスター制・GPA制度の導入、単位・卒業認定の厳格化、学校教育法施行規則の改正を伴う九月入学の推進、教員の国際公募・任期制の拡大による世界トップレベルの教員の採用、海外大学との連携強化（単位互換やサマースクールの開設）、英語による授業の拡大、英語のみで卒業可能な教育プログラムの拡大、国家戦略としての留学生政策の推進、カリキュラム改革、大学院への優れた外国人学生の確保と同一大学同一分野出身者の入学を最大限3割程度にして世界トップレベルの大学院を形成する、といったきわめて画期的な提言が含まれています。

教育再生会議の提言に基づいて先の国会では教育関係の3法案が可決されたことに示されますように、「いまや教育再生は待たなし（安倍首相）」であり、今回の第二次報告の骨子が去る6月19日に安倍内閣最初の「経済財政改革の基本方針2007」（いわゆる「骨太の方針」）にも反映されました。私も同会議の運営委員として、また大学・大学院改革のための「プロジェクトX」の責任あるメンバーとして全力投球し、また大いに論争もしましたので、是非今後の展開を見守ってください。

それにしても大学・大学院改革の目標のほとんどが、すでにAIUでは開学当初から導入されている事であるのは、心強い限りです。

学長 / 理事長 中嶋 嶺雄

